

シリア難民の子ども達へ学校を！ ～「さくら小学校」を建設、運営しています～

シリア難民の問題は今やヨーロッパだけではなく世界の人々が向かうべき課題となっています。
私は、シリア難民支援議員連盟（超党派）の事務局を務めています。シリアの子ども達が教育を受けられるよう、トルコのハタイ県へ「さくら小学校」を建設しました。クラウド・ファンドによって寄付を募り、建設と運営の資金を調達しています。学校職員も教師もシリア難民を採用しています。負の連鎖を断ち切るには、子ども達に教育の機会を与えることです。
2015年5月に現地視察を行い、子ども達の笑顔が未来への希望に繋がることを確信しました。



牧島かれんの活動報告 ～かれん'sアルバム～

私は第三次安倍改造内閣において、内閣府大臣政務官に就任致しました。具体的には金融庁と地方創生の担当として、府生大臣、石破大臣のもとで働いています。
政府の一員として官邸や国会の出席、出張も増えました。国の利便が浸化していく中で、私にできることを考えています。現場の声を聞きながら、発信していきます。今後共、お願いいたします。
内閣府大臣政務官 衆議院議員 牧島かれん



2016年後援会新春号
発行元：〒250-0862 小田原市成田178-1 牧島かれん後援会

ひとコマ写真で見る、内閣府大臣政務官としての活動

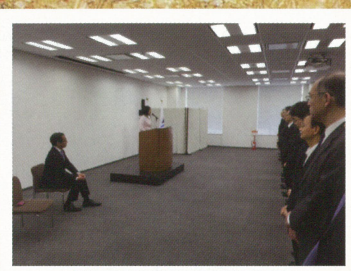


箱根大涌谷の火山警戒レベル、 引下げへ向けての活動

2015年は箱根にとっては大きな試練の一年でした。大涌谷周辺の噴火警戒レベルが引き上げられ、観光業をはじめとして大きな打撃となりました。現場の声を届けるべく、各担当大臣との面会、メディア対応、国会議員の箱根視察と意見交換会を実施するなど、活動を断続的に行ってまいりました。雇用保険の特例措置をはじめ、今後も必要な対策を続けてまいります。



引き続き、
箱根へのご支援を
お願いいたします！



金融庁での挨拶式



国と地方の協議の場



前政務官からの引継式



石破大臣・副大臣と打ち合わせ



金融審議会



経済関係者からの要望



財務局長会議



まち、ひと、しごと創生会議



有識者会議



金融庁、勅章伝達式



地方六団体長との意見交換会

プロフィール

1976年 11月1日 B型
1995年 横浜雙葉高等学校卒業
2000年 国際基督教大学 教養学部 社会科学科 卒業
2001年 米国ジョージワシントン大学ポリティカル・マネージメント大学院修了（修士号取得）
2007年 早稲田大学公共政策研究所客員講師
2008年 国際基督教大学大学院行政学研究科博士後期課程修了 学術博士号取得（Ph.D）
2008年 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科非常勤講師
2012年 第46回衆議院議員選挙において、初当選
2014年 第47回衆議院議員選挙において、二期目の当選
内閣府大臣政務官（地方創生、金融庁担当）／委員会：内閣委員会



牧島かれん、ひとこと紹介

座右の銘：温故知新
趣味：SUDOKU（数独）、映画鑑賞
好きな食べ物：おにぎり、納豆、チャーシューワンタン麺、蕎麦、餃子（炭水化物全般）
苦手な事：腹八分目、ひとまず丸く収めること
小さい頃の夢：宇宙飛行士

ご意見・お問い合わせ

<地元事務所>
〒250-0862 神奈川県小田原市成田178-1
TEL:0465-38-3388 FAX:0465-38-4400
<会館事務所>
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第1-322
TEL:03-3508-7026 FAX:03-3508-3826

Facebook
牧島かれん
ブログ「かれんの前向きカレンダー」
<http://ameblo.jp/makishimakaren/>

牧島かれん アメブロ 検索



金融庁、車座トーク（広島）



尾道空き家プロジェクト視察



大臣政務官会議



国家戦略特区諮問会議

2015年1月から12月までの一年間の活動の様子を
アルバムスタイルで皆様にご報告いたします。
2015年1月～2015年12月

牧島かれん 活動のご報告

Never
Never
Never
Give Up!!

1月



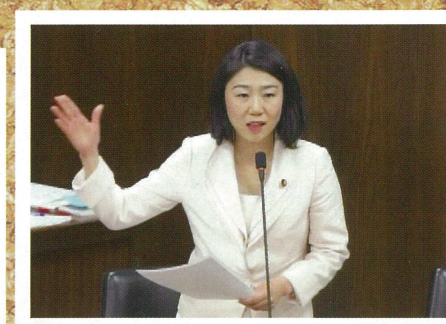
第189回通常国会が開会しました。戦後最長の会期となりました。1月は例年通り、神社にて祈願を行い、箱根駅伝の応援へ。

2月



2月の地元の恒例行事のひとつは節分。多くの福が舞い込むよう願いながら豆撒きを行いました。国会では、日本版マイスター制度に関する特命委員会、職人のWAZA（技）を継承するために提言書をまとめ上げました。

3月



IPU会議でベトナムへ。各国と根回しを行うのが私に課せられたミッションの一つで、無事に日本が評議員の議席を守ることができました。国会では「犬猫殺処分ゼロ」について質問に立ちました。地元では、交通アクセスの整備は、観光だけではなく災害の面でも重要な案件として国交省へも働きかけています。

4月



幅広い分野の議員連盟に入会しており、議連での活動は私が力を入れていることのひとつです。同じ関心分野のもとに、世代や政党を越えて、議論を重ね、議員立法を作成し、国会へ提出することもあります。

5月



IPUの、「若手議員会合」を東京で初めて開きました。45歳以下の、世界各国の国会議員が集まる一大イベントで、私は団長を拝命し、70の国と国際機関から合計で239名のゲストをお迎えしました。テーマに掲げた自由と繁栄について深い議論ができました。この時期地元では田植え。毎年少しずつ進化しているつもりです。



6月



6月には箱根の火山レベルに関する対策へ奔走。アジア女性国会議員会議に招かれ、パネルディスカッションに立ちました。写真の女性は、アフガニスタンの国会議員ですが、女性議員であるという理由で、テロリストによって自爆テロを仕掛けられ、3カ月間病院で生死を彷徨いました。それでも退院後、彼女は議員を続けています。テロリストと、テロリストの花嫁を生み出さないために世界の女性議員の連携は重要です。

7月



宇宙の利活用について法制チームに選ばれました。日本では立ち遅れていると言われている、宇宙政策について議論しています。大西卓哉宇宙飛行士と。

8月



2013年から絆を深めさせていただいている、ノーベル平和賞を受賞したアフリカのリベリア、サーリーフ大統領と再会しました。リベリアでもやっとエボラ出血熱の終結宣言が出されました。今後もアフリカの女性、子供たちのために連携してまいります。

9月



スポーツの秋。ロンドンパラリンピックの金メダリストの浦田理恵選手ともお話をいただきました。ゴールボールは、目の不自由な方が、鈴の入ったボールを音を頼りにキャッチする競技です。2020年オリパラに向けて、皆さんにもぜひパラリンピック競技への関心を持っていただきたいです。

10月



田植えをしたら、稲刈りもしなければ。地元で毎年お手伝いする度に、農作物を育て生産することの重労働と重要性を実感します。日本の農産物はジャパンブランドです！ミスインターナショナルの皆さんが箱根へ。県西地域は、観光地として、多言語化も強化しなければなりません。

11月



2015年11月で39歳の誕生日を迎えました。国政選挙へ出馬を決めたのが31歳の時。それから気付けば8年が経過しました。地元の皆様に支えられての毎日の積み重ねです。40歳を目前にしても変わらずに、多くのことに恐れず果敢に挑戦していきたいと考えています。

12月



これまでは質問に「立つ」側でしたが、政府の一員として、政務官となったことで、答弁席から「答える」側になりました。閉会中も国土交通委員会の審議に呼ばれ、答弁。公務の会議や出張が多く、慌ただしい毎日ですが、日本の未来のためにも、国の建て直しへ向けて精一杯働いてまいります。